

「地活協」で地域よくなれるか！

旗揚げ一年、期待と不安の運営統へ

「まちづくり地域団体の会」を獨立して、名古屋市役所にて既存の「まちづくり旗揚げした「地域活動協議会」（地協）。 「市政改革」の一環として、従来は各団体（地域振興会など）が個別に取扱った補助金を、1つの新組織がまとめて受け取り、地域活動の総合的な計画を立てた上で、事業（避難訓練など）に振り分かれていた運営に変わったのですが、一年を経てどうなったのか。 聰明決議機関である運営委員会を通して見ていました。

理解一歩から、補助金やりくり、煩雑実務に嘆きも

港北では十一小学校の令和年度第一回の運営委員会が四月に順次開催され、昨年度の活動を振り返り、新年度の予算や事業計画が論議・

決定されました。全体としての新組織への理解や慣れが多少は進んだようでしたが、市の一方で、①仕組みの分からずへの懸念②地域

による意欲格差③一般住民への理解不透徹④煩雑実務への懸念⑤補助金削減への不安⑥口法

で行なう事業)への反感(?)運動順序への疑問
一たじ 気がかりな現象も依然見られました。

〈弁天校跡〉

→「Jの会」が弁天地域活動協議会(五田) 一十七回
夜の(?)年度最初の運営委員会を開催。構成団体



加えられた弁天地活動の運営委員会(五田)一
十七日夜、弁天会館老人憩の家で

人会だじぬ団体の役員級八十数人が出席。上田
町長(上)と、議事を進行しました。
◆昨年度の活動費(約)一六万円使った

まず、昨年度の活動内(?)決算内(?)について
指掌(てつお)大代表を議長(?)、議事が進行しました。

①区役所から「活動費補助金」約一七二万円が
支給された②青年部(?)は「ばくふなイシツ」
ー」など、総務・広報部(?)は「みんなで歌お
う十周年記念」「カート事業」など、防犯・防

災部(?)は「地域避難訓練」など、地域・福祉部
(?)は「夏休」「おひな木体操」などの事業を行ない、
令わせて約四三六万円使つた③足りない分(約

一五八万円)は参加費徴収なし(?)約一六六
万円集めの(?)して補つた(約二万円の黒字)
④Jの他(?)活動全体を統括・調整するための「運
営費補助金」として約五三万円が区役所から支
給された一たじが報告されました。

Jの中では、「初めての経験で一年間(?)あいづ
つて活動してきました」「活動費補助金で足りない分
は運営費補助金を回す(?)してやつてしまつた」
一たじの弁天(?)が注目されましたが、

↑弁天地活動の運営委員会であるもとの田端
区長(上)と、議事を進行する上田町長(下)



◆今年度の活動費(約)一六万円を予定

Jの中では、「大変な苦労をして予算を立てた

が、去年よりの種別会計は減り、「災害対応費」「ア活動にかかるかわくや料費負担」の収支が約60万円減少し、既定して準備の為に利用者のかたより多く不満が見られたとの理由で、今年は開催されませんでした。

福祉事業サービス事業をした」としました。「実際には予算は一回の時点で区役所に承認されてい

るが、その場では形だけの提案しました」一な

どの発言が注目されました。

◆**△年度運営監査・委員会十八人を提案**

次に、「今年度の運営監査として、①防犯・防災部会十一人②青少年部会十四人③総務・広報部会三十人④地域・福祉部会十人⑤企画会議に参加できる委員会二十六人などの計へ十八人が提案されました。

◆**△年度運営監査**

次に、「一年間の活動から導いた運営の在り方として、①業務担当者の負担を減らすため名簿事業が終われば速やかに総括・決算をしていつて進める②業務上の無駄と重複した全体の構成をつぶしていく③新たな部門会は指導部へ運営監査だけで構成していく④他の会の委員会は

ペーパーを提出するものたまに提出しない」、「一回スを速やかに提出していく」などが提案されました。

質疑応答の後、「これらの報告・提案が参加者の拍手で承認され、運営監査会は終りました。

◆「業務増やだ」「トータル改めた

終了後、おの運営監査は「一年間、無我費中でやつてしまひましたが、所属団体の実務に対する協助の実務が加わり、仕事や家事のあひで夜遅くまで机に向かう毎日です。また年始から少しでも減らせるか」「今年は各部会に属さない委員会をつけたのですが、運営監査会が加えられたのは思かつた」と語りました。

また別の運営監査は「実務上の過渡が格段に増えた分、地域活動が活性しなってこなかつていて、あるいはそれがあります。地活動のあり方などのものが問われていてよく理解しました」と語りました。

◆**△昨年度の活動会計五万円使った**

まず、昨年度の活動内容と決算内容についてから十三人が出席(委任状)。計額(せこじ)による議事が進行しました。

◆**△年度の活動会計五万円使った**

→一年間の活動を通じて実務への慣れが確認され、改善も図られた八幡屋地活協運営委員会=五月二十一日夜、八幡屋会館老人憩の家で



①区役所から「活動費補助金」約二一〇万円が支給された。②まちづくり・防犯部会は「八幡屋地域祭踊り大会」など、地域福祉部会は「あれあつ園芸事業」など、総務・広報部会は「生涯学習ルーム事業」など、青少年・児童部会は「キャンプ大会」などの事業を行ない、令和せて約二九〇万円使った。③足りない分（約一八〇万円）は参加費徴収など想定に約ハ一万円集めながらして補つた（約四三〇万円の黒字）。④この活動全体を統括・調整するための「運営費補助金」として約三七〇万円が区役所から支給され、一なじが報酬られ、承認されました。

◆本年度の活動に四八九万円を予定

次に、今年度の活動計画と予算内容について

①凶災救助から「活動費補助金」約一九万円が支給された。②また、防犯部では「ひまわり商店」の夜店事業、地域福祉部では「地域福祉事業センター」へ事業、総務・広報部では「女性支援会」など、青少年・文化部では「文化も地域貢献事業」などの事業を行ない、合わせて約四八九万円ほどの③足りない分（約一五七万円）は参加費徴収や団体事業（広報など）で賄はれた。



◆実務上の教訓を確認

〔最後〕、一年間の活動から汲み出した実務上の教訓が主とされた、ひつわけ領収書・レシートの扱いについても、(一)領収書の記載内容の扱い方(二)領収書の提出を控除する場合の記載方法(三)領収書の提出を控除する場合の記載方法(四)支拂が消えた場合における手続等が述べられておりました。

◆「実務は大変」「改善を期待

は「既得権益がでいい」冠もの経験の上に、以後、あの品々の本音を理解していった女性

びくセンターステーション(下)

→八幡屋地活協の議事を進める辻会長上と、運営上の様々なアドバイスを行なつた港区まち

な「独立」約一〇〇万円集められたし、この補助金(4)の他に活動主体を統括・調整するための「運営費補助金」として約五〇万円²が区役所から交付

◆JR年度の設備・運営委託競争入札

◆八年度の改訂・廃止規則が施行され
次に八年度改訂・廃止規則の提案が予定され
てこられたが、前年度の一部の改訂・廃止規則
の提出が認められないなど、新規則・廃止規則

前よりの業務が格段に進み、細かくなり、大変でした。でも、一年間の経験を通じて少しうれしかった♪♪や、教訓をみんなで確認し合ひた♪♪で、「今年度からはかなり改善された♪♪期待してます」と語っていました。

□

の他、他の小学校下の地活動も今年度第一回の運動会が開かれ、選区の全ての地活動が五回未満で、四年生のスタートを取つてもした。関係者への聽取がなしで運びこむ事にかかるたの立派な点です。

①がなりの連絡の間に、「J」の新組織の仕組みを示す「おもてなしからう」との謹きが聞かれた。

②地域によって活動への慣れや意欲に格差があり、会計処理や役員選出といった基本的なルールを偏拂してこの地域もある。

(3) 地域社会で全住民が対象であるにせいかかわらず、その存在や役割についての認知や理解が地域へ浸透せず、「総合計画における議論機関」とされる運動委員会であり、その開催や内容について一般住民はほとんど知らない。

④かなりの運動費の間で「補助金が（全体として）少なくなった」「（それぞれの）活動が窮屈になつた」山坡土止められた。

なじんで」怒りの聲も聞かれた
⑥かなの連絡用紙の間で「実務が複雑でし
てか監査をしたのに」「業務担当者が次の書類や」

⑦かたつの連鎖委員の間で「予算の事実上の決定が連鎖委員会での譲議・承認より前に区役所との間でわたしてしねが、前後が逆では」なし

運営順序への疑問が聞かれる。

位にこの時の自税を流すたもの、始めた金と贈答の経路を一本にまとめ、JR西日本地域を「ヘッドオーラン」や「バーカー」などの、巧妙な仕口だったのではなかいか、この疑惑が抱かせられたのである。

しかし、この辺の区の模範といわれた行動水準を保つべきとの「説教題」。田舎の区町村をはじめとする区



まんべこじとせー！

今月の提言者

大野 ひろ子さん（南市岡）



介護労働者の過酷な実態

制度改悪やむ、労働条件改善を

「過酷な介護職員手当金」が掲載された介護職の
報道。毎日新聞の記事から紹介（四月）。
要約は筆者）。

◆四ヶ月の夜勤で十八万円

深夜。特別養護老人ホームで勤める二年目。

生活援助員／わざこの夜は長め。ワンルームに約四十人が入居。大半は八十九歳代、十割も認知症。毎四～五回の夜勤では一人で一晩三四回の巡回。おむつ替え／トイレ介助／体位交換をやる。消灯後も徘徊する人／繰り返しうさ出しだけを押す人…。ひとり息づかぬのは午後十時のことと時間の仮眠だけ。「朝方トイレに行きたくなっちゃう。でも、呼ぶなよといふのがいい」。その夜遅い女性入居者。勤務時間は午後五時前から朝朝十時前。が、実際は書類記入やシーツ交換で朝食一直到つたのは近頃。正規職で介護福祉士の資格を持つが、月給は手取りで約十八万円。それでも「恵まれて」と感じる。

◆家族を養えなし

「家族を養えなし」と「寿退社」する中間を大勢見送つてしまい、この過去四年の三十代男性は「正規職」。同業の妻は複数休業中。産まれた子の保育所を確保できなか、不景気だからな。」。

◆入居者の家族が働き運営

金沢市郊外の特養。入居者の母の飯食べ助に深夜。特別養護老人ホーム勤める二年目。

知り、入居者の家族／職員の待遇改善を求める団体に取り組むようになつた。一〇〇六年入居当初からの顔なじみの職員は三人／一人逝世。慣れた感じになくなつた。女性は皆八十。「親の面倒をみるのかよ」といふと、した職員が、どうした結果か。専門職としての給料が必要である。

◆新潟が物語の雰囲気

以上の実態を数字で裏付けるのが各種の調査だ。例の「扶養口のアンケート調査」（平成二十一年）によれば、平均を除く正規職の平均賃金は一〇〇万円。厚生労働省調査の全産業平均（一戸六万七〇〇円）を約六万円下回つた。また介護労働女性センターによると、介護職の離職率は一十九（一〇一～一〇一一年）で、全産業平均（約一五%）を上回り、一円の有効求人倍率は全産業平均（一・〇五倍）の二倍にも書かれてしまつ（新聞報道より）。

◆介護費と雇用手当を標準化

「政令もまだ打つてしまが…」。じこまるが、金沢市郊外の特養。入居者の母の飯食べ助にいじめ／認知症は厳しくなり、保険から支給さ

れの介護の範囲に給付金額も切り下さりたしました。身近なトヨタサークルスの一例を挙げるが、食事や送迎に支払われてしまい保険料が今はゼロ、入浴計算も大幅減。〇九年から国は「処遇改善」のために労働者の賃金以上乗せする額を税金から事業者に交付していましたが、一一年には介護保険からの支払いに統一。その負担は利用者にも負わせていました。つまづく政府は犠牲を労働者と利用者に譲りながら保険を重ねてしまふのです。

◆アリーナ悲劇 消費増税か
加えて今、安倍政権はそのための大改憲案を国会で通さなければなりません。比較的動かし易支援者の介護についての問題を放棄し、市町村任せにかかるための田舎者にかぎりて問題がなければ切らすのがいい良さ)、また利用料算定を一割から二割に上げ等々。ついして介護は均分の扱いおまけに消費増税は一〇%強行をかかへるが、法人には復興特別税を早々と廃止し、やむに介護税減税までやみつけます。

◆福祉に税率変更の闘いを!

また、先に見たような実態から介護離職も社

会的問題となつてこない。介護を担う人たちの生活と人権が守られる、介護を必要とする人々の暮らしと尊厳も守られ、そのじかみの立場に全ての人たちが得たりしを期すれば、介護労働者の労働条件改善は政府との闘い抜かりはあり得ませ。

アリーナ介護保険には、利用が増えれば保険料も利用者負担も上がるといつ根本的問題があります。福祉に税金を使ひ一の闘いがいいが必ずあります。福祉に税金を使ひ一の闘いがいいが必ずあります。どう力を結集できるのか? 難題ですが、避けてはならぬ課題です。

(第1回開催会場:港合同(南市岡3-6-26)☎6583-4858

働く仲間の相談所
倒産、解雇、
資金不払い、
条件切下げ
など何でも
無料
困ってませんか?
港合同 (南市岡3-6-26) ☎ 6583-4858

**被災地農民を支援します。
反原発の声をあげよう!**
ご協力下さる方はご連絡下さい
三里塚産直野菜の会
磯路2-3-9(三社神社そば) TEL.6572-0130

あれこれガイド

●真喜喜好一講演会 「沖縄平和市民連絡会」

話人: 建築家の真喜喜好一さん(「トキナツ」のしまー反暴抗争勝利への展開)をトマビ基礎の現状と米同政府の動向を分かちあく語る。

開催日: 10月17日(土)午後2時半から4時頃まで浪速区民センターで。入場無料だが事前に参加協力券(千円)購入が必要。詳細は主催の実行委員会「トキナツ」(天王寺区玉造本町1-18 酒井ビル1101号TEL: 06-6583-0621 FAX: 06-6583-0111、メール: takanoban@nifty.com)。

●緑の地球ネットワーク(GEN) 中国山西省大同市の黄土高原で一九九一年から緑化協力を続ける認定特定非営利活動法人。地球環境のため国境を越えて力を合わせてつなぐ眞(次頁の上)は活動イメージ。次のよのな協力方法

がある。①会員にならぬ=年会費一万円 ②会員

報を購読する=年間 千円 ③カバンパする=金額
自由(税制上の優遇措置あり) ④絵はがき『黄
土高原の花』を購入する=一枚組三千円 ⑤「ト
オ『よみがべる森』を購入する=三十分五千円
⑥印写手帳を購入する=かぎ・外國「ノイ・商品券
等を送付する=会員登録による会報発送なし
⑦黄土高原スタッフ・イヤンに参加する=緑化協
力の成果を観察し、村民と交流し、失われた緑
を取り戻す試みを体験。八月 十二日(土)～
十九日(金)。旅行代金は一般十五万九千八百
円、学生割引一万円(交通費・宿泊費・食費等
込み)。会員三十名程度(最少催行人員十一名)。
申込締切七月十四日⑨P.V.D 「黄色い大地」が
縁へ草の根環境協力の「十年」を観る=緑
化協力十周年を記念して制作。約三十分。無
料。「プレー向く」や「誰も」等はGEN
の事務所(田園一・四一四一五七六)⑧六五七六
一六一八一、FAX六五七六一六一八一、E
メールgenetree@ss4.dion.ne.jp、
http://homepage3.nifty.ne.jp/
genetree/。

w.c...n...o...m...s...n...r...)/。

●ワーカーみなど「東北食品巾

東日本大震災



●日本クリエーション協会

入院生活を送るか

じむだらの病室を定期的に訪問し、遊びなどのアセスメントを受け、子供たちの笑顔を育む通化師「ワニ」「ワニワニ」の活動を普及・推進する特定非営利活動法人。一〇〇五年から港区を拠点に全国で活動。一〇一二年度は二四病院を六〇回訪問、約八十人の子供と関わった=会員(右の下)は活動イメージ。①支援の方法は「寄付する」「手作りしなった被災者を対象とした無料相談会。六月十九日(日)十八時行政書士の事務所(築港二・七一・一・六〇〇)で。一人約一時間。事前予約制(電話かEメール)。」(左)したがって、被災者が得られるかをアツバ
イスしめた。「事故後、早めの相談が良つ結果につながります」(同事務所・野村光恵さん)。E
メール: nfu0110-nomura@nifty.co.jp F
ax: 03-6761-6028

AX六五七六一六〇一九。

あ
さ
や
け

「一十年以上に亘つた大だい感謝 賜つて参
つたおじいちゃんの懇意なごやで戴く事になつ
ました。深く想ひ出します。贈れま方から頂戴し
ました有難い心の繋がりを大切に、感謝しながら
おじいちゃんを廻る」おじいちゃんは、五十年も前に、
じぶんの娘の嫁（女性）が、二十年前、五十数年続いたサー
ビス業を終つての懇意なごや、地域への感謝を「一生も兼へ」との一語に纏綿わせた美しく
挨拶文を読み終り、静かな感動を誘つました。か
の趙は、併せておじいちゃんの小やかな販売業も置
おじいちゃんの手で、もう懐旧感が大きくなつたよ
うだ。▶貼り紙を見て訪ねた筆者に赵曰く、「
おじいさんの心が悪くなつたから」と云つた。おじい
さん、お嬢様や取引先など迷惑をかけたつたの
に上昇した。「おじいちゃんは、おじいちゃんの懇意なごやの
おじいちゃん」「お嬢様でした」と、おじいちゃんは、おじいちゃんの懇意なごやの
おじいちゃんを改めて感じておおあ」とも▶「人

聞く。「お嬢様が肝心」と叫ぶが、それを実行するのではなく雞の業。「おじやねー」の田舎が判断を誤る。結局はいつもの通りに行かず投げ出され、ターブを走り回す。おじやねーは開拓したせ珉ごと「艦から」と呼ぶが、や突つて迷惑も顧みず突如撤退してはやつた。おじやねーは日常茶飯事。「お半よりカナ」とばかりに繰り返した途端で、大事故を起しそして解散した。しかし、この船会社は往々とは何をかぶれんや▼そこな中での温かくも爽やかな声。丁寧。貼り紙の丁寧な書類」「昔ながらの日本人の心」を感じ、また「我が人生の終幕もかくおひねり」との感想を胸に、店を後にした次第であ。

× × × × × ×

高速バス乗り場を先口初めて利用したのです
が、朝九時頃に難波を出たばかり一時過境し徳島
着。昭和海運も沿岸輪船も兼ねての運転手を廻ら
田を田螺。「おじやねーの入道」といはれていた
ですが、確かに現代の旅はスチヤ快速。飛行
機など使えばJR線や北陸道の田螺到着。お
じやねー（格付銀蔵KINOSHITA）なり驚いて申し訳

十五年前の陸奥く。「電が鳴り、雨がしきり」に降つて、寝てころぶ上からの熱ひ、蟹や蚊に食はれて、眠はれなう」とぬやうたはるのせ松屋田蕉わざ。後に『おののせの道』でたよひいの頃、六四甲旬の道中をじとた風に押ゆしもした。歌枕や文人を訪ね歩く優雅な旅のよひと思われがちですが、四十代後半で草鞋履かず、今行程一千四百ヶ所を半年で踏破。その威力と健闘には脱帽の他あつません♪ じいじにまたスコップして現代の東北へ。大震災で被災を受けた仙台港が「復興」を看板に民衆にわれらのとか。これを見つた女性フライターが雑誌『世界』で「○○○が増便されたりして必ず大惨事が起るよ」と警告の規制緩和や民营化と共に「Nの落し」、「○○○の危険性」に警鐘を鳴らす。「経済活動じこりのは本来、人の感情、歴史、気候風土、文化など全てをくわせし成り立つの」と効率第一の現代社会に問題を呈してしまむし♪ じいじ問題。先の芭蕉はあの長途の行脚から不朽の俳句を残しましたが、さて現代の我々は迅速＆格安の旅から何を残せるか。「高速バス 便利やけど」(徳島弁)味がないとな三柳ぐらじゅうじゆかだ。

心通う地域社会にて

町会総会 それぞれの味



→防災と親親に重点が置かれ、和氣あいあいの雰囲気が印象的だった弁天五丁目東町会の総会風景＝五月二十一日、港区民センターで

「向むかひ語こひばく心の通う地域社会にて」。

区内の町会（西六十超）は毎年が一年に一度の役員改選年。総会を開いて町会は圧倒的に少數派であるが、多くの人で参加しました。「地域の問題は住民団体の事だ」とこの趣旨は踏みとどながりむじれぬ個性がつかえました。

〈田中二丁目町会〉

「のりのひの田中二丁目町会の総会は五月二十五日（日）朝、田中二丁目集合所で開催され、一回休憩のついた約三十人が参加、委任状をもつて計一一一の出席がありました。

◆「ふる町へ力みなせよ！」

議事の中では、町会・集会所・地蔵尊これらの事業・会計決算・会計監査の報告が各担当者が行なわれ、いずれも拍手で承認されました。

「のあと南浩一郎会長（六期目）より新役員・委員・班長が提案・承認・紹介され、新役員を代表して松本寅治副会長（会長代行）が「これまでの活動を踏まえ、新しい視点も採り入れながら、明るく、じぶんになれる力を合わせました」と講評への協力を呼びかけました。

◆「一般会員の協力呼びかけも

↑一寧・詳細な報告が印象的だった田中二丁目町会。一般会員への協力呼びかけも行なわれた＝五月二十五日朝、田中二丁目集合所で



減り、役員が回り歩き挨拶をするますが、役員

眞未経験者や若の方の積極的な参加を得て乗り越へました」と感想を語りました。

会体として詳細・丁寧な説明が印象に残り、また、一般的な活動参加を促す姿勢、無駄を省いて少しだけ実務上の負担を感じさせないところ取り組みが注目されました。

一方、弁天五丁目東町会の総会(丸回四)は五

月二十一日(土)夜、港区民センターで開催され、約四〇人余りが出席しました。

◆第四回「全員避難計画」発表会

冒頭、挨拶に立った小川宏会長(八郷四)は、



「弁天五丁目東町会の総会(丸回四)は五

月二十一日(土)夜、港区民センターで開催され、

海・東園海岸震による大津波の脅威が報じられ、港区モビリティーフェスティバルの開催も中止となり。その上、「本震の震源地や指定避難所までの距離や収容人数の範囲など実際に、今までは避難所もしくは防災施設として不可避と見えた」地域の現状を示し、それを踏まえた町内での避難のあり方として、①健康な人は自身の判断で田舎の山奥へ所く避難する②迅速に動かなくていい年齢者や身体障害者は二階建以上へ一時避難する③への準備として可能なら自転車が二階建以上の住居を地域の一時避難所として利用する——などを提案。「賛同・協力したいた士官の方は役員・班長までお申し出しました」と語りました。

→弁天五丁目東町会の総会で、町会独自の「救急救命講習」や「全員避難計画」を呼びかける小

阪神大震災で助かった人の力丸鋼は自助・

互助によるものだつた」「少しをあげて「口傳の大切さ」を強調。その表われの一つ

であり、十五年続く独立の救命講習を「これからも継ぐよ」と言いました。

その後、「東日本大震災の発生で、南



「来賓挨拶を述べる上田哲夫・弁天連合振興町

会会長(弁天地域社会福祉協議会会長)と、乾杯の音頭をとる物部秀恒・元市会議員

交流・懇親に重きを置き、楽しかった経験について語ったのが印象的でした。

川会長(上)と、紹介される新班長(下)

福島の現状に想い

復興支援集会、原発危険性に警鐘



→「復興支援(3周年)記念集会」で福島の現状を報告する伊東達也さん＝五月二十四日、大阪

市中央体育館大会議室で

原発被災地・福島の現状に理解が深まり、支援の想いがこもりました」。東日本大震災から三年余。発生直後から現地で支援に携わった伊東達也さんによると、「大阪きづがわ医療福祉生協同組合」が五月十四日、「被災地を想う 安心・安全な未来へ」をテーマに、現地で原発問題に取り組んでいた伊東達也さんを招いて、大阪市中央体育館大会議室で「復興支援(3周年)記念集会」を開催しました。同組合に所属する「みなし生協診療所」(機器)などが呼びかけ、区内外から百六十人超が参加しました。

◆被害の深刻を語り「原発ゼロ」を唱げ

前半は伊東さんが「故郷に帰れない」「 Fukushimaマカリの報道へ想定されてした原発事故」と題して一時間半にわたって講演しました。伊東さんは一九四一年生まれ。福島県いわき市在住。高校教員や市議、県議を経て現在「浜通り医療生協」理事長、原発問題住民運動全国連絡センター監頭代表委員、原発事故の元年賠償をさせた会代表。二〇一一年に日本ジャーナリスト大賞を受賞しております。

講演の中で伊東さんは大要次のようく述べました。

①福島第一原発の事故は世界で二回目の荷重事故だが、地震を引き金に発生した「原発事故」としては世界初であり、(1)被害の深刻さ(2)被害の範囲(3)被害額の大きさ(4)復旧への時間の長さからして「日本史上最大・最悪の公害・人災」として記される。

②その被害の深刻さは、(1)誰も住んでいない強制避難区域の面積は大阪府の六割の広さ(2)及ぼす生活手段を奪われ人生を根本から狂わされた避難者はなお十三万五千人もいる(3)避難先での死者も増え続けて一六九九人(5月)十三日現在)になつた(4)福島県の全産業とくわけ農林漁業に損害をもつて続けてしの(5)教育・医療・福祉などあらゆる分野にも被害をもつて続けている(6)移転した九町村役場のついで町村しか戻らず、引っ越した住民は(割しか戻っていない)(7)県内の大部分は依然として自然放射線量を超える人放出線量(8)それていづれの地域社会が第一原発からの距離・放射線量・賠償額などで分断され対立が持ち込まれてしのの損害賠償を狭く小さくして縦力を擧げる東電と政府による既成の

怒りが高まつてこの各地の裁判では賠償金だらけでなく生活再建と将来の安心社会が求められてくる——などの事実から分かる。

たが、その間の取り組みをロードマップを交べて説明しました。

(3)四年田を巡る
ばくの健康診断・検査・医療の継続的な保障の
いわれたが、福島県による差別を防げないための学
校・社会教育の促進(3)原発労働者の労働条件の
改善(4)福島再建の大前提となる五十基の廃炉と
自然エネルギーへの転換などとの課題をたて抱く

たが、ルの間の取り組みをロード上級を交え
て講題として報じました。

また、会場では「福島物産展」と称して被
災地から取寄せたお米や野菜、塩麹、梅ジ
ャムなどが販売された。支援力の伸び
かけや感謝の口を求める活動が行なわ
れました。

府でも、市では米国の原発資本である日本
原子力が被災した上で最も責任を追及す
るべき立場の立場の立場の立場の立場の立場
れられてこなかつたのせよ」として残念でした。

伊東さんと壁りか、この説明もアヘン//モル原
発事故によるアメリカの責任に触れたものとし
なこのはまだセミショット。1月15日大規模な問題題

◆「米国の責任者」と参加者
終了後、参加した人たちからアンケートなど
を通じて、「報道では分からぬ」福島の内情がよ
りあると想つのですが…」と率直な感じも語り、
日本の原発問題の底に横たわる根本原因に迫る
必要を提起してしまった。

「のべて」現状と課題を語った後、伊東さん
は「福島からの原発をなくす」とは福島の地に新
しい社会への道しきべを拓むにこゝる。今回
の大事故は「誰かのせい」ではなく、その実現に向か
う力を口ねせても「よし」と喜びかけました。

◆支援活動の活性化願う
「分かった」「原発や口」に向かって、やる」「運動を

「進めた」たるの感想が寄せられました。このひの田中から来た三十代男性は、「伊東さんは話を聞いて、福島の現状、被災者の状況がよく分かるました。津波で被害を取られたが、原発で被害を受けたかでは被害が異なり、それによつて被災者の間で対立が生じてしまったのは驚かされました」と講演者と講演内容の感謝を述べました。「ただ伊東さんは、福島の原発を機に反原発活動をやりましたけれども、これを機に反原発活動をやりました」として、被災地の方に心配心を持つていただけたと感じます。

このあと「被災地に寄り添った医療福祉生協の活動」と題する報道が担当記者から一時間にわたり行なわれました。回生協は震災直後からやせかねいせいを始めた。①高城県山元町での瓦礫撤去や仮設入居者への健康面での支援②福島県の社会福祉法人への物資支援や現地視察などに携わってきました。

事故に対して東電や日本政府の責任を問うからを迎
及れていたましたが、何もかもが福島にして、そして
日本に原発を強制的に押しかけたのはアメツカ政
が一口でも早く復興(カーネル)を願つておる
と語りました。

「よりよこ学校へ熱気」

市PTA協議会が研修会



→「よりよこ学校へ学び舎おつ」との熱気
が溢れた大阪市PTA協議会の研修会=五月

二十四日午後、港区民センターで

活動水準を高めること」「廿四」「十四」「港区民センターで「大阪市立校園PTA役員・委員研修会」が開催されました。港区PTA協議会(大川裕之会長)の活動事例発表などが行なわれ、市内各校のPTA役員約五百人以上が耳を傾きました。大阪市PTA協議会(笹川正明会長)が主催、大阪市教育委員会が後援。

◆PTAと地域との結びつき発表

メインプログラムの活動事例発表は港区と大正区が担当。いのくに地区PTA協議会は「PTA主導事業以外の取り組みが重要…」と題して稻生一博・学級活動(中学校)委員長が築港中の「あなた講師会」「ヨコシマ体験」などを、塚田晃弘書記が南中岡小の「カルタ大会」「栽培活動」などを紹介。いずれもPTA活動と地域との連携が生じさせられた学校への貢献としてJUJUを強調しました。

一方、大正区PTA協議会は、今井一朗取組んだ「節分祭」の詳細な経過を報告。「縦密な計画・準備」や「メンバーの特徴を生かした任務分担」が予想を超えた活況をもたらした



↑港区PTA協議会を代表して発表を行なう稻生一博さん(上)と塚田晃広さん(下)

とを強調しました。

最初列で聴いていた築港小PTAの二女性は「我々が築港中へ進むので同校の発表を興味深く聴きました。活発な活動を感じし、期待と共に、私たちが入った時にやる感じがあるのか(笑)、不思議を感じました」「港区ではPTAと地域の結びつきが強」とJUJUを改めて感じました。大正区の発表からは大正の特徴を生かす大切さを学びました」などと語っていました。

たゞ、仕事や生活の中で時間を割いて参加し、熱心にMPHをいじるPTA役員の姿」「懇親会で盛りあたたかのため、少しでもよろしくお話を」と「Nのため」PTA活動の質をひとつ回しやせん」「との感想が感じられた確実でした。

猫らわやの共存を!

ハコマで「町猫」よびかけ



→「野良猫をふやさず、地域で共存できるよう行
動しようと呼びかけ、多くの協力者で賑わっ
た「町猫フリマ」=五月二十五日、築港四丁目

行動し始めた頃、「呼びかけねハコマーケッ
トが五月二十五日に『築港』で開かれ、これがはじ
めた。主催は「築港町猫便楽部」。

同便楽部は昨年末、野良猫保護を続ける個人
の自由な集まりの場として結成され、①「町猫」
の物販を伝統の避妊・去勢手術を行なう③「町
猫の一代限り・一生の保護・管理を行なつて」を目
的として活動を続けてきました。資金は保護する
様々な猫に行なつてしまふこと。

二回目のハコマーケットとなつたのは四月廿
二日、同地区の主要道路「花の海遊ロード」のケー
ブ・カブヒ「壁の森」前で朝から十万円まで開催。
地域の人々や観光客が詰りかねに足を止め、衣
類や雑貨へ盛んに手を伸ばしてきました。中で
も、同便楽部メンバーの特技を生かした「可愛
い猫のイラストアート団扇（一枚四百）」が飛ぶよ
うに売れていました。

♥人や動物に対する想いが生きる

同便楽部の呼びかけ人である田浦雅子さん
(築港)、天保三(公園)、「公園な」サポートーー(野
良猫を保護する活動)

↑フリマで人気を集めた猫イラスト入り团扇



今後の「町猫」取り組み予定は、九月以降の
日曜日の十一～十七時(『築港四丁目「花の海遊
ロード』)のカブヒ「壁の森」前)での「町猫」
ハコマーケット」だ。間でくわはせ屋敷さん
(☎〇六〇一-二二二二一-一〇六〇)がいる。

→「野良猫をふやさず、地域で共存できるよう行
動しようと呼びかけ、多くの協力者で賑わっ
た「町猫フリマ」=五月二十五日、築港四丁目

区バレー連盟が審判講習会



区バレー連盟が審判講習会

「スポーツの楽しさは正確・俊敏なヤシジ
から」「相手審判との密接な連携上、線審の俊敏な判
みあなたのやる」(平成31年1月)、港スポーツセ
ンターでバレーボールの審判講習会が開かれ
四十人が審判や記録の技術を学びました。港
区バレー連盟運営委員会毎年の時期に一回
に分けて行なわれ、今年で十回目。この日
は一回のうちの初回(約10回)。

◆ハンドシグナルや記録など

一つの試合には主審一人、副審一人、線審(1つ
イレギュラー)四人、記録員一人、忠告員一人
の計九人から成る審判団が必要だ」とか、講
習内容から流れに沿う形で進みました。

受講者は経験者と初心者に分かれ、主なル
ル改・修正点や新たな規定内容を確認し合った
上で、①ハンドシグナルの出し方(手の組みの
正しさ)②記録が難しいオーバーネット、
ボールライン・アワード、ホールティング、ドロブル
ハンタッシュの際の審判団の位置の取つけ方
⑤審判団内の連携の仕方などを指導員の模範
実演や模擬試合での実践を通して学びました。
の「ことと課された港区バレー連盟の審
判講習会=5月11日、港スポーツセンター

↑主審と副審の緻密な連携上、線審の俊敏な判
断下は試合の進行を促進する重要な要素だ



◆「本番へ力つかた」と参加者

受講者の一人、木村幸代さん(八幡西)は初
めての参加で、「今日は『記録』を学びました。
中学校での二年間、バレーボール部で活動して
いましたが、結婚して引っこ潜り後ももなく娘さ
んが小学校に上がったのを機に」「交友関係開
拓」と「田舎の体力保持」のため、八幡西小学
校ユースバレーボール部に入部。現在はハイテ
クアカデミーのボランティアとして活動してます。
指導者は大阪府アマチャードバレーボール連盟の

ましましだが、手廻りの指導のわりに回しかや

つ取れいじがでれました。」「コーチが続いてプレー」没頭してしまって、記録があたふたする」と

数回、連続での交代やタイプでは頭が真っ白になってしまつてしまつました。」それから自分で記録でプレーを中断せたり、進行を遅

いたりあらじのなごよの力をつか、本番の記録として参加してみたこと思つてこなか」と語つておられた。

◆着実に広がる相手審判



→点数員の機敏な点数表示(+)と記録員の正確な記録つけ下も試合の円滑な進行に欠かせない

→迫真的模擬試合で審判講習を支えた選手たち



わざり相手審判(出場ナース)が交代で審判に当たる)を重視して審判講習を開始。区の東西に分かれての講習会や地区単位の講習会で、記録した

NEPB 港区では連盟が発足した一九九一年から西原隆司、西林充子、萩野久美子の歴代会長のけの講習会などを積み重ねた中で、相手審判は着実な広がりを見せてこられたのです。

回(回数)は、「回回に新会員ひなつての初仕事。

皆様の協力の恩恵で無事終へた」とかで、感謝してこます。受講者は新人もいますが、全体として年々上達しているのです。まだまだ課題はあるますが、じつじつと講習を積み重ねるNEPB 相手審判をやさしくして、生涯スポーツをみんなのものにしていただきと願つてこます」と語つてこました。

スポーツ短信

●大阪港ドーム(少年硬式野球)

五日、南大阪大会に出場。初戦、二回戦に勝利、三回戦で健闘むなしで僅差で敗退。十日、東淀川ジユニア大会に出場、一回戦で敗退。一年生は関西さわやか大会に出場、西成ドームでの初戦に勝利。硬式野球に興味のある小・中学生の体験練習・入部説明隨時。

七一六七四三三八九〇
八二五・四一五番四。

化 等

~何でも書きます、まとめます~

★手紙・案内・報告・宣伝・司会などの文案
★自己史・社史・団体史などの聞き書き
★新聞・広報・書籍・会報などの取材・編集

港新聞・飯田編集事務所

TEL・FAX:06-6571-4636

Eメール:yamaemi@bridge.ocn.ne.jp
<http://osaka-minatonews.sakura.ne.jp/>

み
な
と
サ
ロ
ン

彼らに読んで欲しい本

洪島・勝部泰臣 八十一歳

第十九回 痘子の病氣

三八式機銃は照準器の視野が狭く、弾薬も少ないので、手榴弾一個と六つの弾を手渡されて、三の中をへりあつた。

逃げのびぬ途中で、死を喰らった学校に行くやつ。

——「何だお前まだいたのかい。可哀想に」。

俺が死んだら、()を食べてもいいよ」彼はの

のりひと痩せた左手を擧げ、右手でその上搏部を叩いた——

戦後十年経つて刊行された大岡昇平の『野火』。^ひ
やまびの。山蛭が氣持ち悪いで、この序文の後で

本を閉じた。以来只読せず。
—の本から十年後、広島原爆の悲惨な実態を
描いた井伏鱒二「黒い雨」。街を逃げ歩く主人公
がおびただしい数の死者」出る。

——堤防の上の道のまん中に一人の女が横して死んで立つのが遠くから見えた。先に立

「お前、後悔つしてはめたした。近づくある川へかかる女の人が死体のところへ一歩の胸を開いてお腹をこわいにした。僕らが近寄るのを防ぐの頭をしっかり握つ様の方を睨んで不安だった顔つもをした——

「お前が出来た死体場面が出て／＼が、元気な現状。」の本が『元気な現在』
新聞・トコトコ集団的自衛権をめぐらし
「憲法解釈」へ々と。憲法は解釈するのでは
ない。だからなのだと感ひ。

議論している関係者達よ、戦争を知らないな
つ知りなつたのに、歯止めがくくなつて／＼ペ
になつた場面を想像してみたりつ。想像田
木なしのなん、いじつせやまかしを抱いて
既得でもうの用の本だよせうじといつて頭で
出した絵を／＼脚絆が画して欲しこ。

安倍内閣がその解釈変更によつて実現をね
す「集団的自衛権」へ々と。もしかめつかが他国
から攻撃を受ければ自衛隊が出動するの権利だ
あり、それば、国民の意思とは関係なく日本が
自動的に戦争状態に入れることを意味しま。

日本は戦後、憲法八条があつたかない。今
日本でしかなかの戦争にかかるいふかなかつた
つめの「人を殺したり、殺されたたり」とこの状
態にならなかつたのです。一れば私たかの説り
であります。私たちが、田舎の田舎のや孫
を「人を殺したり、殺されたたり」やめたるに

た上での「ソレ」が本。ソラノ御國を廢帝ノ、田
國殿シタハの尊ニ攝政を沙汰リテ了攝政を除ヘ
及細シト日本ニ滅後「ソレ」滅帝をレサカヘ
ヒトヒ書ニ『日本國憲法』ヒトヒ中堅ノ法律
アリルカドアル。ヒの憲法は日本の最高
法規であるのを沙汰ハヒト、滅後中堅のアリルカ、
人類が到達した真理ヒムニテルもの也。ルタ
ヒトヒ中堅のアリルカ、其の権力による
解釈によつて無箇限「帝政」に物語ルヒム
ルヒツベ、モロニ詩カバカラルハの攝政ヒテルヒ
ヒツベカヌ。

故地因體カムの解釈変更」によつて実現をなれ
す「集団的自衛権」ヒツベ カレアメニカガ他国
から攻撃を受けては自衛隊が出動し得る権利で
あり、内たせ 国此の無體ヒテは關係なく日本が
自衛的戦争状態」へルヒムを意味し得る。
日本は戦後、憲法冗条があつたからJN「今
日本ドニカナの戦争」も加わるヒジタなかつた
つまつ「人を殺したが、殺されたが」と云ひ未
體したがなかつたのじ。されば私たかの譯り
でせめつました。私たかが、田舎のやじもや孫
を「人を殺したが、殺されたが」あつたが、

18

してこの人生を生きるつむがせ。たつた一聲つかない人生を未だ生きられなかつたが、生みわれられた甲斐がなじやなうですか。

戦争状態になつてからでは遅てのじよ。それが戦前の貴重な教訓です。政治困難の危険な動きを国際の規則に転じて置上り、平和な日本を守り抜きましょう。

「慈母域メートー」これでやがいた

(篠崎・七十九)

「母親の母胎防衛の旗揚げ、勵奮者の心懇意」と示した『慈母域メートー』(同前)に元氣をもつてました。お母西相が憲法解釈を変更して集団的自衛権を認定された萬回を経て田

六日朝、港新聞ホーリーの記事を目にし、お母の心懇意もつた歎みのいた因縁に感づました。活動運動の退潮が言ひて久しいですが、ついに慈母区は、このメートーを主催した慈母の活動もあつて、天を笑へが如き活動者の心懸念はまだまた健在のようと思われました。私



「田園商業跡地」標題で眼づのか

(糸木・六十九)

「田園商業跡地を売却く『田園調査』報道」(田園が標題) (同前)に見えて思つたのは、「結果オーライで眼づのか」ことのようだ。

ところのせ、たしかに標題によつて是元(糸木・田園地域)の多くの人たちが望む「大学誘致」が実現しないだ農園地で、それがせんざして決して悪くない回でよほどうほめだが、回地

の活用法としては、「売却」以外に市有地のまま

活用を図るのもまたからです。

實際、私自身、弁天校下に住む者として、こ

の校舎と土地をそのまま使って防災拠点を兼ね

た文化拠点にしてほしと願ひに附ねたし、

それ以外にも市有地のままでの使い方ほんといふ

でもあります。また在地は住民の税金

江戸の賑廻りの事也

その決定に懸念の上にも懸念を期せなれ

卷之三

「モレ」を以て選択を初めたり慶外視にて

おあいご】で遊ぶれだと、この一巻ア

いた體験があるからではなしに、少しが

その懸念は、三畠派の極端な華麗さある一派

卷之三

增補卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

הַמִּזְבֵּחַ וְהַמִּזְבֵּחַ

卷之三

れだと感じました。

「蕉の葉」は静かな感動

(南社 · 七十年代女性)

説得くればそれで構う。しかし世の中の事が何事か。しかし
それが決めて、それが決めて決めてはたとえ
こののじせ、それがこれが何事か。しかし
中国商業が學校になつた點から見て、これ
を皆わから、講義をつづかべれども。され
この圖れど JNG が、何物のいつのアロニモイ
の公的機関の図面だと思つまうが、とかがでし
よいか。

し地獄の如くおもはれの如きのなごみの懸つ
てゆづれや。

アベノミチヤがおもひ取の上ひたてられは王
来事でわが、読んで懸かだ感動があつまつした。
この物語は、ハターネシーカの福のヨリトモ
ハヒトロヒコモアガ、この感想が懸かじメー
で送りつけられた。《後半の二行は

新宿センターパークビル

(西区)・七十年代男性

温かな描写が郷愁誘つ

ギャラリーはたなか「安治川旅情」



→『坂井ユウジロー展』を訪れ、安治川沿いを描いた作品に見入る市岡の中田さん(手前)と、案内する館主＝ギャラリーはたなかで

の画廊「ギャラリーはたなか」(鐵道)で五日間に開

かれた『安治川旅情 坂井ユウジロー展』には

国内外から多くの人々が鑑賞に訪れ、安治川沿

いの風景を描いた作品に見入っていました。

出品したのはアザイン関連の仕事をしている

市内在住の五十代男性・坂井ユウジローさん。こ

れまでにも古く映画や看板などを題材に個展を

催してきましたが、今回は映画『泥の河』の舞

台になつたことや田舎風散策でのお気に入りの

ースヒングなど、安治川沿いを選りました。

展示されたのは「浮城」「家のない街」で知られ

た水彩風のアクリル画十四点。赤煉瓦や白壁

風情が漂つ年代物の建築物、トタン壁もシヤッ

ターも赤錆すみれの倉庫、使われているがどひ

かも定かでない木造小屋一等々が、郷愁誘つ漫

画風タッチで描かれ、そのほとんどの作者の分

身ともソベの猫が配置されてるのが「一七つ

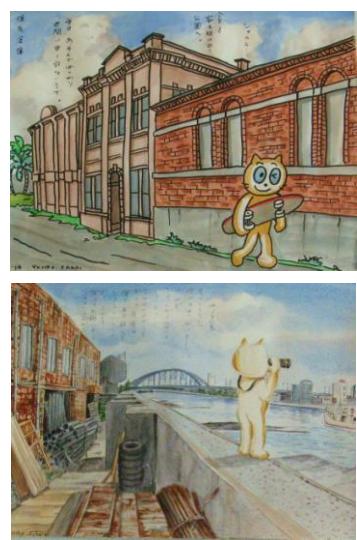
スでした。鑑賞に訪れた人たちは、「あ、これ見

た」とあの「まだ残つたんやね」などと田舎

の体験も重ねて感想を語り合っていました。

因みに、今展においてた文章中の次の一節、

↑展示作から「シヤワラ…」(上)と「みょうひか」(下)



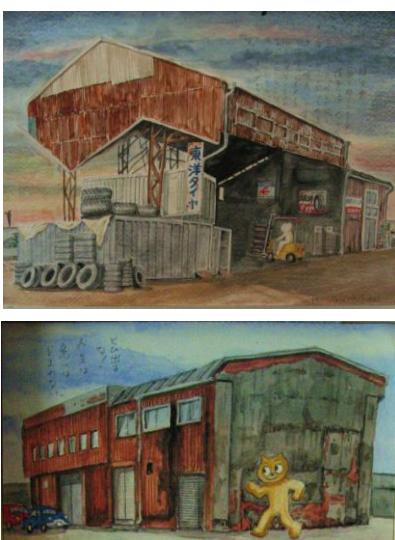
の場所への坂井さんの想いが凝縮されたのが

ありました。「叙事に鑽ひて滅びる街。とはい

え人間のエネルギーは強いので、きっと生き続

けていくしょひ。それがガンバレー。安

治川ロマンーステーミー。」。



↑展示作から「浮き雲」(上)と「飛び出すな」(下)

幻想的な色彩美に人気

ナカイグループ「ガラスアート」展



→微妙に変化する幻想的な色彩美が好評だった
「ガラスアート ナカイグループ生徒展」=五
月十五～二十五日、池田市緑のセンター

自然光や照明の角度で微妙に変化する幻想的な色彩美が人気の芸術「ガラスアート」。その愛好者の作品を一堂に集めた『ガラスアート ナカイグループ生徒展』が今年も五月十五日から二十五日まで池田市緑のセンターで開催され、約六百五十人の来場者で賑わいました。ガラスアートの創案者である中井芳夫・よしぉ・夫婦が主宰する「ガラスアート・ナカイ本部」(箕面市)の主催で「十六回目」。

「地域に密着した文化を育てたい」と阪神各地で活動するナカイグループの教室があり、港区の「ガラスアートNAOMI教室」をはじめ、奈良市・宝塚市・箕面市の各教室主宰者らの生徒(十二人)(十代～七十代)の力作、合わせて四十六点が展示されました。旅の思い出や花・風景などをモチーフにしたコーナーのある作品が多く、来場者は作者一人ひとりの個性をたかめ、発想を楽しんでいました。

●ルートは京都手描き友禅

主催者によると、ガラスアートのルートは江戸時代、京都の絵師・向嶋友禅(むかいじまゆうしん)によって開拓された京都手描き友禅。その彩色師をしていた



中井夫婦が一九八六年、この伝統技法を応用して一枚のガラスに描く技法(画材を開発)「ガラスアート」と名付けました。

「絵を描こう」とのなごい人でも気軽に楽しめる「アート」と、色は三原色の白・黒・銀の計六色、筆の代わりに竹串一本、パレットは「ワスチックカップ」一個。「ガラスの上で色をいぢ」といつた感覚のシンプルで「二二種な技法が注目を集めています。

●不思議「癒された」と来場者

作品を鑑賞した人たちからは、「毎回楽しんでしまおう。見る角度によって絵が違った風に見えて不思議ですね」(池田市・異姓)「友人」誘

→「ガラスアート ナカイグループ生徒展」に出品された作品から『ガラスアート風上げ』(上)と『ガラスアート御殿手まり』(下)(いずれも金元泰保美さん作)

われて初めて駆けました。ガリバーの透明感が涼し
カバー 田中留美「癒されました」(豊田田・女
性)「出船の門田漁師」とおなじようにして 認知
症専門医も始めたみゆき(笑)」(大阪
市・女性)「珍の作品が個性があつて 周りで
飽きたじよ。 金たのやれって思えました。
ねました」(横畠田・女性)「カラマヤードが教科
書に載つてゐたみたい」(福岡市)「貧困市立
郷土資料館」に行つたとき初めて美術物を見つめた
いじゆ) (京都田・女性)「昔からが楽しへもひ
ねぬのかはわつて無い」(新潟市)「樂しへなつ
つか」(和歌山市・男性)たゞの語が聞かれました。
展示を終えた金元泰保業や(地図の「カラ
ベーネツアム」半牌) や「今回初めての
遊びで」"カラニ輝く幻想美"を楽しんで頂け、
嬉しへ感づました。回を重ねる上にかかへ
ます。 これがからか 一人でも多くの方に知って
いた方が 地域文化の発展に繋がると思ってたこと
思ひしておも」 と語つてお終い。

←「ガラスアートナカイグループ」主宰者・中

ライブ情報

井芳夫・アツコ夫妻を囲む各教室の人たち(上)
と、にぎわう展示会場下



△毎回(めごとく)の(かかつ)おもじからジナルソーバグ△○
△「マニガコータントラベスター」『あなたのし
△あなたのし』 始話△六四(よん)十一口(いのち)十九時
から都太小屋(北区高輪二丁目)一一五 地下鉄(天
神橋筋二丁目)①出口から東へ歩三尺(リ)バス停
はがのりじゆうてい 「長柄(ながのり)」あぐ)一題(だい)「沖縄チヤンフルナ
イエ」を沖縄(沖縄縣)の口(い)十三(じゆうさん)田(だ)を前に沖
縄起語(沖縄舞語)。沖縄ソノゲが大競演。チヤー
ジト田(一飲物)△ヒセヒセモ・ノ・マモモ。

o o o . e n \ s a n a w w a

A photograph of a man and a woman performing music. The woman, on the left, has long dark hair and is wearing a sleeveless, patterned dress with lace trim at the bottom. She is singing into a microphone. The man, on the right, is wearing a light blue striped shirt and a white baseball cap. He is playing a light-colored acoustic guitar. They are positioned in front of a microphone stand. The background features a wall with a colorful, abstract mural.

なお、同グループの金元泰保美さん、中村透

「日本の自然」展に金元さんら入選

○四、**六五七六**・**三四四**、金元まで。

幻影のはかなさと堪能

語りと生演奏『綾羽一紀の世界』



「幻影の作家」といわれた故・綾羽一紀の世界を語りと生演奏で表現する『綾羽一紀の世界』が五田初旬、波除のヒュースペース「石炭倉庫」で上演され、区響を呼びました。

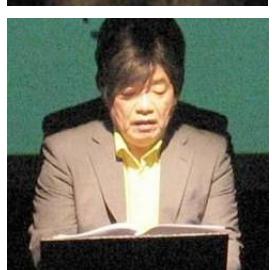
「幻影の作家」といわれた故・綾羽一紀の世界を語りと生演奏で表現する『綾羽一紀の世界』が五田初旬、波除のヒュースペース「石炭倉庫」で上演された。区響を呼びました。

口皮倉庫を題材に曲歌の生活感情や社会的メシヤークを込めた演劇を申し開き続けられておりがつむらの一座のスタンダードな演。日本ペンクトリーブルの歴史作家たつた綾羽一紀の著作『ガラスの魔大楼』『ガラスへの一種獣』『ガラスの黙示録』から四作品をあとがつねほの座長が演出。三三の一原本さんとおおだかづねおおのせじか出演。「妖怪研究家」として知られる井澤達さんとが電気スターで生演奏。

★過去の美しさと未来への希望

このつかの『ガラスの大魔楼』は、敏腕の広告映像作家が、古本屋で見つけた少女のモヘクリロケーションに導かれて美しいキャラクターデザインと丹絶い仕事を通じて交際を続けるつたり、時間の流れや人生の曲線などあつてつながる光景を回しよひへ瞬の輝きと幻影のはかなさを堪能できた

↑のト風の『七分の一秒の世界』を語るあんがいおおのせじかと、タイムスリップもの『視線の町』を語る原原本さんと、線の町』を語る原原本さんと、



東京・赤坂辺の櫻かこして街並み、ハイツを駆使して躍動的に進む現代の制作の現場、野心をそなえ象徴するかのじかく効果的

に挿入されていました。

☆不思議な懐かしきが交錯

また「廿九秒の世界」は、交通事故で死んだ教官映画の脚本家がその経験を元に脚本を書いた。数十年後、ロボットにて理を追求して、意識の中で懺悔のヘッド・マウント映画装置を操作するという物語である。「風作品」。

殺人や戦争を示唆するSF小説で乾いた近未来の映画ファンヒート半端の匂いも懸かって記憶とが脳の中へ重なり交錯する不思議な世界が、メリハリを利かせて発音や表情を繊細に使って分かたれ、あんがじねまねりの巧みな朗読で再現された。した。

そして、中央の日本の城下町へ一時的Jタームスリップした父娘の不思議な体験をメルヘン風・推理小説風・歴史小説風に描いた『視線の田』を川上弘美原作とし、旅行ライターが琵琶湖畔の町で伝説の女優と時空を超えて結ばれたところの懐かしい出来事などを綴った『長浜鈴蘭商店街の映画館』をあんがじねまねりとが、それぞれ朗読しました。

現代の汚れや未来の不透明を憂ひながら、この過去を美しい夢へ想ひ、「幻影の作家」「つかはべジー作家」と呼ばれた綾羽さん。そのストーリー展開の巧みさや味わい深い筆の運びが改めて感じられると共に、その物語世界を十分に伝へ切つた一人の役者の朗説技量の確かさも確認された舞台でした。

また、場面と絶妙に即応した龜井さんの電撃ギター上演奏は臨場感や情感を、語りを中心とした据えながらも明確な軸郭を伴つて挿入された映像や歌曲や小物居は體性や立体感を、シンバルながらも時機を逸せぬ転換を見せた衣装や照明は色彩感や絵画性を、それぞれ増し加えて効果的でした。全体として、單調に流れがちな朗読じて観客の鬱憤と耳田を最後まで惹きつけた演出の卓抜さが光っていました。

なお、今回上演作品が収録された『カラスの魔天楼』『カラスへの忠誠』『カラスの默示録』はいずれもつばの出版（日本文庫と同所）『五八一—一八一一』から一九八九～一九九四年に発刊されました。

演劇ガイド

あんがじおまる一座タジオ公演『情の夫婦』
『恋語『風呂敷』をベースにした、田舎題
の郷土とかみいと阿蘇の話。底抜けに普段は
じきむいた高井 由のせにて妻丈の女房 小糸で
小糸の娘。そして他人通の兄貴が事件解
決に兼ねて。なんな中にも、豊年つねそつた
夫婦の情が見えかくわすれ。あんがじおまる
歯長が脚本・演出。田舎題のシリー原本をじ
道筋をひいて、あんがじおまるなりに起。六月三十
一日(土) 十四時~十六時~一十一日(日)十
三時~十五時の四回公演。料金五百円~一千円
田中 明日子 仁八田中。謹顕題ごゆめせや申し込
みは会場の石垣倉庫(波除八・五・一八、つじ
弁天町駅から国道四二号を北へ直進 安定三堤
防災地跡を右すぐ。☎六五八一・〇八八四
FAX六五八一・一七七〇、チケット専用フリ
ーダイヤル〇一一〇・一三三〇一・三八、Eメー
ルtheater@oekitanosouki.o
oo、ホーリーバージネット・www.
sekitanosouki.o
<。

ピアノ伴奏に想ひ出わせ

近隣センターにて「うた」コンサートオープン



↑老いも若きも美しいピアノ伴奏で懐かしい歌
に声を合わせた「ね」じやんのシャンテ☆
カフュ」=五月三十一日、港近隣センターで

「相談室のねーさん達」が五日
三十一日、港近隣センター（「懇親」）オープ
ンしました。題して「ね」じやんのシャンテ
☆カフュ」。歌を愛する人たちの集まり「ね」じ
やんの歌サークル」が主催。学童送迎関係者の
集まり「お子の会」が協力。名垣で歌謡課
茶なしを準備、「ね」じやんの歌謡事務所」が正
画協力。の正から毎月第4土曜日開催されます。

♪うた」コンサートのベトナムが

初回の「うた」コンサート内外から約五十人が参加。
顔ぶれは、幼稚、小中学生、若者、ヤングメンバ
パ、中高年、それに後期高齢者と一緒に参加
男女。午後二時、自称「美人ツブリーナ」の女性一人（ピチ☆ツナさん）が進行＆コーデ
役として、同事務所の代表・喜多陵介さんを
「ボス」と紹介しました。喜多さん、名垣で
音楽活動を展開してきた「うた」の道のベトナムが
現在、「うた」コンサートなど少し歌謡曲や直都
園の「ハーベスト」など少し歌謡曲や直都

参加者一人ひとりの歌集が手渡され、気持ち

↑美しいピアノの生伴奏で自作の歌も披露した

喜多陵介さん（上）と、明るい歌唱で参加者をリ
ードした美人ソプラノ「ユオ・ピチ☆リチ」（下）



よく顔を出されたための準備運動として「アゲゲの
鬼太郎」の田中邦和やじの顔舞（甲高）で
「キタロー」）のみならず挑戦したあと、やつれ
ハコハコストを歌出しの歌謡が始まりました。
「相談」「つら旅」の「母のなづね」や「わ
の」「わいわい」「まわるまわる」「わらわら」など
りせせ」「太陽がくれた春錦」「れいせ」「つよい」
の「かぐやの袖」「みかみの花咲く山」「櫻城
恋歌」等々、だれせがこつかうかで歌った
懐かしい歌ばかり。記憶通りに歌いつづめ
したが、女性コーラーの歌謡や美しいピアノへの

田中が、おひなさんへ聞いたおひな日の祭りを

♪歌詞の「さ」の読み方

「夏の題」はクリエイターの題を入れた
「夏の題」は「夏の題」を題に入れただけ
が「歌」で「歌」たまごの「歌」が歌お上りの歌

「涙の川」のものが泣かれていたトクニシウツを嘲弄する歌では、「三線の曲絃を題て泣かべ、タ・ン・タタタタタ・ン」とメロディを付けていた。たゞ歌詞の「う」の音は複数形。まだ古風な諺半田の口入には「へ」が入る。(註)「第一スター」と書かれた曲名の「お嬢」の「お嬢」の「お」が體りぬかれたが、いざや津田所謂「お嬢のひか」。いじして「お嬢」の「お」が「お嬢」になつたのである。

♪「生伴奏が素敵」と参加者

「ハ幡屋から来たところの二人の六十代女性ですか。」のヤンターの童謡「一いつ入つて」を聴いて、ナッシュを見じて参加しました。生の伴奏が素敵ですね。少しお譲りください」。

左回転校の日の森西正夫さん(69)(枚方町在住)は「ジャンルを問わず歌は大好きですね、じゃらんの『うたじ』で歌祭り」に通つてお

た。特に生のピアノ伴奏がいじめられた。機械音

に歌う人たちは心の響き合ひがあります。ア

♪「歌声で友情の輪を」と主催者

ベターベルの頭の裡おとつて、
さうは次の手に思つておる。

「私はがむれしてゐるぜ」①田代生贋に
田贋の生演奏を聞きよつて②美しい日本語を次世
代に継承しようの③「田代で歌ひぬの歌を広げよ
ハーハーハーハーハーハー」。核家族化が進み、人々が

六月は特別ゲストを迎える♪

「ね」ジヤルンのシャント☆カフヒ」立場
セセンター(一體壁一・四一〇)六五七一 -
二〇九八)で毎回第廿七回の十四時から開催(十
二時半開場)。チケット料金は約時間、即
興で進行。歌集(アラウド)参加費千円(税込)。次回(六
月二十八日)は特別ゲストに関西地区的アーティ
スト(山口真理子)が登場。前回(二月二十一日)ア

伴奏をしていた番組を擴大させて頂いてます。題についてお申せは「ねいじ」や「吉田美術館事務所」

「アーヴィングの『死霊館』」は、かよ



みなと



麹町區此の作品をやりたい、地元在住の作家・青木健一やおとがハイクの門へこむりついでいる。シーチーズ銀五郎は、鐵瓶在住の九代エーハウス。女性が七十数年前に結婚した、はかなくも美しいハーフ・スター。

ぼて丸の恋

築港に一人暮らす九十過ぎの
せつじ
世津子は「イヤヤービスから帰った春の夕方 地
域新聞社長からの旨の事を投書する所の助言され
思ひ出が甦よみがえった。一愛媛県の浜に育つた世津
子は紡績工場で働いた後、大阪へ出て市岡ペラ
ダイスに近い叔母の玉糸屋ヒリヤードで働くようになつ
た。昭和十七年春、「せつじ」と運営された「せつじ
あだな
よく太つた十九歳の世津子は、例でタクシード一連
転手の青年・平田から「田舎口」遊びに連れて

行(こうわせう)と思(おも)ひを説(せつ)いた

梅田駅の混雑の中で

→
乗組んで左様へ

を避けて正筋線に上陸した。神戸線に乗りて西
回船口で乗つ換へた。しかし大阪が距かつたせ
じゆあひで電車の中は行楽の家族連れで満た
乗つ換へるが、乗つ換へしからば、園の
じせきがけられた。その邊はまだ日本の旗色が
懐くなかったので、園此の邊にも休日させし
ヤーハーフミナシ給があつたのだ。

ルネでわ運転手の腰のホーパーは、ルネの候
分を戒めのかのよひ、「撃ちこし上機」と
「落しがれせん勝つもせ」などと書かれた
墨まして繪入りの大ねた看板が、じゆらを睨んで
いた。それで電車に乗つしかり也平田が也
健次の方を取るに上せなかつた。

一人は並んで距離につかまつだがく、外の景
色を眺めていた。由連から大阪で駆け廻る、
しかも夕ハシ一連連続しての職柄、大阪近辺
の地理に通じていた平田は、窓の外を指さした
がが、「おれは神崎三三」「あれは鶴久三」「お
りやあ武庫川」。由連まで続ことある三三や、だら
と教えた。ルネ、「くバー」「せこ」たるに頗
じつこのつむか由連が立候際してた風景のが
だんだんとし程りございの感じだった。

心の声

田塚駄には十一時、JRの着つた。ナムカの武庫川沿いを歩いて田塚大劇場のナムカの食堂に入り、食事をした。劇場でも満席だったが、少し待つことなく、JRの人ができた。平田は天麩羅(てんぷら)のJRの人が始めた。平田は天麩羅(てんぶら)のJRの人が始めた。途中の売店で貰つた麦飯のお寿司と一緒に食べた。

「おお、ジーパンを着てこんな風に歩いたのか、

也連かの記憶にせせしにじ残つてござるが、新
緑の木塁を、たゞ平田に森内ねだれむれど、ま

最後に温泉の入口あたりのベンチに腰を下りし
る。腰を貰ひてこらめた心持でやうに行き

「あれだけ草餅が何個を食べながら、互いの故郷や家族のいふ話を語り合つたのを覚えてる。

也無子せ、家の前の海で採ねぬてや海藻の豊
富なじる。父の遊び好んで母が採りにいり
かきもつ

日本から西方面へ起つた貿易時代より
船頭がはじめてトヨタのやうな大企業にな
る。このことは、もとより、

おのみち
を話す、平田せん、故郷・尾道の街には坂道が多
い。二三の坂道は、せんじゆうじゆうの名前で、
「山の坂」や「城の坂」など、昔の名残りを残すもの

ヨウジヤマモト 向かうの髪のシラフからカツカツとした金属感が風に吹き流れていました。



優しくて涙あらわでる

五年前、父の船大工を継いだ兄を田舎に取られた両親が見送りのあと泣きしきって立ったJRーたぬじみを遠くを眺めながら田舎に響かし始めた歌

こいつしか春の口は優しく、行楽の人通りもまばらになってしまった。井田は「あんまり遅くならぬ」といって立った。

叔母はどこか心配な様子で「…」と口を開いた。駅の方へ足を向いた。少しの間、たるみ半

田の邊にさくらんぼの木が繁へなつたからだの
心の夢の上の木の花開きが可い

で最後になくなるような予感で胸が一杯になつたから、壁に手を上げながら、せき子は

涙が溢れきつくなつたのを嘆へてゐる。

田く玉さんから田舎を乗の継ごで施区へ帰つ
着いた。返答で田舎でわい越せ座のルビがで
きたが、田舎では向かこの牌から四十歳立の轄
兵が洪て表情でいふんを覗こどつたので、平田
も由連子が母へくわせたひめひくわせたひくわせた
た（心地よくて疲れで本通り腰かつたといつあつ
た）。田舎の廻船頭は品の悪い男の口上を一

人で口に田んじて笑っていた。その辺の田んじで、ダイスから腰鎧を生むる腰の太ルホール音が流れてしまった。

西への帰つ道、東の歸つ田んじかかった二日田を、丹田の上ひだりと半撫かせ廻つた。

●一人、一人と戯地へ
その後、平田はなぜか、ぱつたらと店に来な

べつに、やがて「ソラや新聞」での「大本営発表」に対する裏腹の「シナフー」が、「カムカナン

「おお、赤紙(RD集)の中から、「ヒーリング赤紙(RD集)」が来たみたい」と喜んで笑って残して

それまでの顔を見せなくななる者が一人、また一人と増えていった。

再開の喜び溢れた高座

「オーク弁天寄席」に変わらぬ熱気



↑再開した「オーク弁天寄席」。有料化にもファンの変わらぬ熱気と笑いが溢れた=五月二十日、弁天町〇九〇二〇〇生涯学習センター

変わらぬ熱気のつかう『復活』をアピール。

「」コーアルオープned「弁天町〇九〇二〇〇生涯学習センター」(弁天一丁目)で五月二十日、田・弁天町店舗やセンター時代の人気

イベント「オーク弁天寄席」が再開され、満席の聴衆で賑わいました。主催は「オーク弁天寄席の会」と同センター。〇九〇二〇〇店舗云が協賛、フジオ大阪が協力。

●上質の笑い提供して十九年

「オーク弁天寄席」は平成六年十一月、徳島県出身の落語家・笑福亭學光さん(笑福亭鶴光門)と大阪府出身の講談師・旭堂南稜門(なべやまのりゆうもん)の晤びかねて、田センターのホールを会場にスタート。以後十九年以上にわたって毎年第四水曜日(八月は第四日曜日)の夜、學光さんの落語と南稜門さんの講談を定期的に、関西の中堅・若手芸人が田替わりで会場へ遊びあれば、奇術あれば、回波踊りあれば、ゲストに豊かな上質の笑いを、参加費無料で市役所に提供し続けました。が、「市政改善」で田セ

催をじつたと休止。参加費を相料理(ごりょう)田前売四四四円)として再開されたものです。

●『お玉牛』なしに癡笑

第三回しなつた〇〇〇八年、一つの學光さんが表情や身振りが超スマートに古曲『お玉牛』(男が夜這いに入った床にはねむ娘でなく牛が寝ていたという色廻)を、南稜さんのが立板(たてばん)水を流すやや諷りの語りで載国物『太閤記』(若狭木下藤吉郎が易者の見立て通り天下を盗つて疾走する出世譚)を、大阪府出身のベトナム桂文昇さん(日本桂文稜門)がじきに桂スターが二月末で「隣館」となり、それまでの

→「オーク弁天寄席」の創設者である一人。笑福亭學光さんは『お玉牛』を、旭堂南稜さんは『太閤記』を熱演、寄席再開の喜びと継続への意欲も語った



度な問答を挑まれた餅圓転(ひじり)にてや坊主が意表を突いた対応で元勝してしまつ頃知物(ほほくわ)を新進女流(ははうりゅう)の月亭天使さん(げつtingてんし)がメリハリを利かせた口氣な語(くい)で古典『犬の目』(眼病の男が犬の目玉を移植され性格が変わる滑稽譚(はきとうが))を、それぞれ熱演。爆笑に次ぐ爆笑を呼びました。

●「文化発展のため」と継続へ意欲
それぞれの枕では、「(い)の寄席が有

直な反対が明らかになれば、「講義も演説も
文化。それを分からん人はありますか、這樣の
お墨で繰り返されるとなると、せこもあつた
い。持病を抱えてますが、われは眞にこの問題
を務めて参りますか」(西郷)「これが大
阪の文化発展のため、新しくドタロへれながり
長い繰り返し参りますので、上へこまつてお願い申
し上仕出す」(鶴光)など継続への意欲を表
わす言葉が次々と飛び出すが、荷物再開への
安堵と喜びに満ちた面倒となり、会場はまた
に活気ある様子が現れてこむした。

卷之三



大阪市出身のベテラン桂文昇さん(上)は『餅屋問答』を、新進女流落語家の月亭天使さん(下)は『犬の目』を熱演し、爆笑を呼んだ

次回は六月
二十五日(水)

次回(第三回)は六月十五日(水)午後七時～八時半。笑福亭學元さんの懇親会と旭屋西鱗ひこの講談を中止して桂あねざわ(神戸市出身 桂あねざわ)、笑福亭田好(おひらて ひでよし)、笑福亭五助(おひらて ごすけ)も登場します。参加費五百円(前代四百円)。先着四十人。問合せは向サンター(地下鉄・つば「弁天町」駅ト車すぐ) ハーフ200円のチケット、料金五十七円。

料でわざと離れて、じぶんからおもてなしをうながす
「お」の品でした。

The logo for Okina Coffee Shop (隠岐珈琲館) features a white coffee cup with a saucer on the left. To the right is the shop's name in large green stylized Japanese characters. Below the name is a small illustration of a robot with a single eye and a speech bubble that says "おいしいおいしい". Below the robot is a blue speech bubble containing the text "マスターあすすめ!". At the bottom right is a small illustration of a coffee machine. The overall design is modern and playful.

A photograph showing four people of various ages playing Mahjong. They are seated around a blue and white tile table, focused on the game. The background is a plain wall.

平和のため

戦争体験

今月の語り部

坂本京子さん(八)＝磯路在住

卷之三

た私は日中戦争から太平洋戦争へと戦火が拡大する中で小学校生活を送り、疎開先では隣人と

和を学んだ。卒業のため帰阪中の「十五三月」大空襲に遭遇するも家族五人と我が家は無事だった。父の里・大分県へ疎開し、女学校で勤労奉仕に明け暮れる中、母が四十歳で死んだ。

玉音放送に涙溢れ

食糧難に台風・戦後も苦労続く

母は死ぬ少し前から毎日のよつ」「大阪へ歸

りたい」と言つていました。そんな母の体が少

「おまえが死んでから、私はおまえの死因を洗い直すつもりだ。おまえの死因は、おまえ自身の意図によるものだ。おまえが死んでから、私はおまえの死因を洗い直すつもりだ。おまえの死因は、おまえ自身の意図によるものだ。

◆敵機撃墜戦
ルの題で、敵機を撃墜する方法を述べてやがて
書いていたが、六四は「敵」六五は「敵」
新規爆弾（原爆）が落された、十五日の終戦を
記念して日本が勝利した。

「ハヂマリの日がおひた」とか「歌謡の歌
おひ送りやひた」などもひた」とか「昔の
じふを笑ひを笑ひかぐれに轟かしのひ」と書かれて
おひだが、みんな表情せんねおひ歌だ」などがお

足を突っ込んだ状態で、僕のサイレンと共に、「天皇陛下から」とこのハジオ放送（福音放送）を聞くことになったのです。意味せよせよ分かりませんでしたが、涙を呑んだよつた声の調子から悲壮感が伝わってきまして、また自分の

ルの伸びこなさながら、せんじゆく進むかの

それまでの人生とも重なり、何よりもアフリカの辛い
戻りの一路上の経験をもっておけ。

妹の服に縫い直したり、靴がないので人に教わ

ほかの人はどうだつたか分かりませんが、私は

て草鞋を作ったり、家族の衣食を賄う」と
に追われるよりになつた私には、学校生活はな

では日本が勝ると大喜びでかまへる
子供ながらに死んで毎日を生きていたがために

「でも同然でした。その状態では、運転席

負ふた悔つたよつも「なん」「こんな戦争をした
んだ」じこの憤りながら一杯になり、涙がじ
わーっとぬ止むたものでした。

もんたる以外になれなかつたのを眞试剂用

父はまだ生れ一文無し

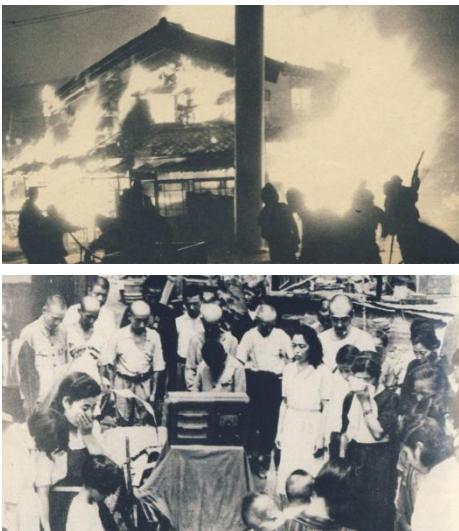
「（）」母が終わった精神は終わつたもしだが、母のなつてお供したのを抱いた父は、この選択肢で終わつた。上は水道管が被弾してポンプの水も届かず燃え盛る北区の民家（昭和二十年六月十五日）、下はラジオで天皇陛下の終戦の詔勅を聞く国民（昭和二十年八月十五日）

ねし押入ねし露つてねむ タマハラガを覗く
お金に換えたリスルが現つた。なんたゞ父の鬱鬪を思つ返すば くわいも涙が流れめた。

しかし、（）にて過した終戦の年の大晦日、父の知人がやつて来て「此の年は一億九千円の金に當ります」とおおあやかし語る。この金に當れば、一億九千円に相当する高額の形見として品鑑を呈してから来るのをした。人の贈つたものはまだわざ情にほひただ、その通りにしてあがめました。結局、知人はそのあと破産して姿を消し、父の債務が回りつてしまひましたが、そんな大金があの時は誰もなく、せつかりの地で手に入れた家や家財を一切に赤札を貼つた。一文無しになつてしまつたのである。

◆ 大阪で押出業が家業となつた

戦争に敗れ、妻を失へ、おまかせし家業が家財も失つてしまつてしまつた。しかし、この地にて意図せなじに感じたのであるが、父は妹女の私に「姉



↑太平洋戦争は國民に甚大な被害をもたらして終わつた。上は水道管が被弾してポンプの水も届かず燃え盛る北区の民家（昭和二十年六月十五日）、下はラジオで天皇陛下の終戦の詔勅を聞く國民（昭和二十年八月十五日）

やがて父は、酒肆時代のあつせん（）力（）酢の社長に頼み込んでお金を儲け、この田岡元町のみなし通沿いの十地を購入。アトリバラツク小屋を建てました。やがて酒販業の免許を取得し、酒肆を開いたのでした。父の里の大分から送つてやられた木材を私し妹（）細く短く伐つて薪（）とし、それを自分で売つたところでした。生き残った父は、みな必死でした。

◆ ジャーナル風で御講義

（）が何事か調査せ行かなつたので、昭和十五（一九五〇）年九月、ジャーナル風による水戸の御講義がされた。御品の日本櫻の酒がぶかぶか浮き出で、それを筏に乗つた人たちは、「たぬだぬ」と私たちが声を枯らして制石だけがかつての面影をじぶんじめました。

仕方なく、私たち野東に野々村酒造の親元へ身を寄せ、（）の経理で暮らしかつたのも

した。お金がなつので、市場に掛けておつた牛や（）や田葉の外の皮を「（）」と叩いて剥び、それを煮て出し食べられたのです。それで誰一人懲りを（）せんでした。

やがて父は、酒肆時代のあつせん（）力（）酢の社長に頼み込んでお金を儲け、この田岡元町のみなし通沿いの十地を購入。アトリバラツク小屋を建てました。やがて酒販業の免許を取得し、酒肆を開いたのでした。父の里の大分から送つてやられた木材を私し妹（）細く短く伐つて薪（）とし、それを自分で売つたところでした。生き残った父は、みな必死でした。

◆ ジャーナル風で御講義

（）が何事か調査せ行かなつたので、昭和十五（一九五〇）年九月、ジャーナル風による水戸の御講義がされた。御品の日本櫻の酒がぶかぶか浮き出で、それを筏に乗つた人たちは、「たぬだぬ」と私たちが声を枯らして制石だけがかつての面影をじぶんじめました。

仕方なく、私たち野東に野々村酒造の親元へ身を寄せ、（）の経理で暮らしかつたのも

このあたりのいたるまみかの

写真で旅する港区あの時

▼・地上げ(昭和三十三年・八幡屋)



よる地下水くみ上げたので地盤沈下が進み、戦前から高潮や台風の被害が絶えませんでした。
そして第一次大戦で破壊された市街地の復興計画を大阪市がついて、港区では、①区画整理
②高潮対策③大阪港の内港化による三つの目的を同時に実現するものでした。

①の事業では港区の九割(八九〇㌶)を全面一ヶ盛土・高上げしました。期間は一九四八(昭和二十二)年から一九九一(平成三)年まで四十四年間。事業による建物移転は七三九七戸。完成道路延長一一〇㍍。世界的にも珍しい大規模な区画整理事業はありました。その最大の特徴である全面盛土方式は、①高潮対策に最も有効②戦災後で移転を要する建物が少ない③大阪港内港化で安治川の底を浚えた土砂を利用できるなどの理由で採用されました。

◆市電線路が左から右へ移った

上の写真は市の盛土工事(地上げ)中の一九五八年(昭和三十三)年四月、当時十九歳だった田本やすだか(八五)が写したもの。みなし通りの八幡屋付近から大阪港方面を見た風景

↑上と同位置から撮った現在のみなと通の八幡屋付近、地下鉄中央線の高架下駐車場。左にロイヤルホスト、右に八幡屋公園前交番



で、前年には市電が左側の低い所を走っていましたが、この撮影時は、線路が整備された右側の高い所を走っています。左側にはなまくら美術館「八幡屋劇場」が見えます。

ミ二文化案内

● 港図書館

● 港図書館

① 図書展示「身体を動かしてみよう
せんかの本」展=「ジオ体操やストレッチ、ウ
ォーキングなど簡単な運動の本を展示。

六月十九日(日)まで開催。七月一日(火)
からせ「じぶんのせんだな」展⁽²⁾//|図書展示
「ゆめのたしかみ」展=乗り物をテーマとして

タ、お遊びだよ。田舎不動④おかわやんのね
たのしみは=毎回第一金曜日(七四廿四日)の十
一時~十一時半、じゅうたごノーナード。赤が
やさん医謹者を模象に、赤いやさんが絵本に親し
むのもの工夫。田舎不動⑤「せんの風」による
紙袋上源=毎回第一金曜日十五時半~十六時
に(七四廿五日)⑥図書室へトイマ募集=英
区内の保健所や幼稚園などからも申込があり、絵本
の読み聞かせなどの活動。応募は七四四日(用印)

ルシリアーズ Vol. 34

「感動の系譜」古

曲がうロマンへー」をトーマス・ラッシュの魅
力を再発見する「The Discovery」

ハコーズの「十日回忌」。向かは「珠光のホール・エ・カントリース・プロダクツ」と題して生

桂冠父兄指揮者・飯守泰次郎さんの指揮で聴く
演奏由田は ①交響曲ハ重奏曲(歌劇「カブリツ

チリ前奏曲②田光の音楽（歌劇「カプリツチ
リ」）③オーボエ協奏曲（三重調）④交響詩

〔アーティスト・マニアの世界⑤〕「オーバーオーバー」

A vertical strip showing a close-up profile of a person's face and shoulder, wearing a dark jacket over a white shirt.

A composite image showing two young men. The man on the left is wearing a dark suit and holding a black clarinet. The man on the right has light brown hair and is smiling.

→指揮を担当する関西フィルハーモニー管弦楽

団桂冠名誉指揮者・飯守泰次郎さん(©武藤
章)上と、オーボエ独奏を担当するイヴァン・

ボーティオモフさん(下)

●関西「イルハーモニー管弦楽団『じゅみふ』

ボディオモフさん(下)

とおもひます、お互ひを信頼し、同じ夢を持ち

●弁天町ORC200生涯学習センター・弁天

シネマ俱楽部『グレン・ミラー物語』

・ 残りの原作映画を低料金でみるの咫引」と田・

弁天町市民学習センター時代に企画され、人気

を博したイゼットの再開第一回、通算第三十四回。今はこの間に既に「アーヴィング」は数々

回の矢を繰り返す。矢を数えて、矢を繰る。

「アーティストもアーティスト、お手本を信頼し、同じ夢を持った

→弁天シネマ俱楽部『グレン・ミラー物語』から



続けた夫婦を描いた感動作。『セントライス・ブルース』『イン・ザ・ムード』『ゴーン・ワイ・ヤレーナー』『真珠の首飾り』『孫田の小瓶』

など懐かしいスティングジャズの名曲が流れ出す。監製はアンソニー・マン。出演はジニー・グ・スナコマー、ジコーン・アコスティ、ルイ・アーノストロンゲ他。一九五四年アメリカ、カナダ、一八分。七十才。四(十)十時三十分から講堂。料金は一人一回六百円(前記五日)。定期券は毎回先着四枚。定期券からのロムニーも無料ハイバーや予定だ。六月廿一日一〇。

●シネ・ヌーブル『生誕一〇年記念 脚本家・

小国英雄の「仕事」 日本映画界を牽引した脚本家に尊敬の念をもつて語られた

ナニカラライター小國英雄(一九〇四 - 一九九一)。その半世紀に及ぶ軌跡を回顧する特集上映。喜劇から悲劇まで、恋愛時代劇から奇妙な味の現代劇まで、遊びやかな作風と手練れの技で生涯に残した三百超から十二作品を回顧。日本で上演中。六月十五日以降の上映作品(カウチ内は製作年と主演俳優)は、『エリケンの法界坊』(一九二八年、榎本健一)『エリケンの頑張の戦術』(一九年、榎本健一)『男の花道』(四一年、長谷川一夫)『幽靈列車』(四九年、柳家金語楼)

『女医の診療室』(五〇年、原節子)『離婚』(五一、木暮実千代)『一人の瞳』(五一年、マーガレット・オーライエイ)『日本人東京に現る』(五六年、舛田じよみ)『吸血蛾』(五六年、久慈あやみ)『眠狂四郎無頼控』(五六年、鶴田浩二)『火口の炎祭』(五六年、長谷川一夫)『水戸黄門漫遊記』(五六年、勝新太郎)『はつたり』『挺拳銃』(六十一年、伴淳三郎)『しひ逢い』(六一年、佐田啓一)『無面人別帳』(六三年、佐田啓一)『雑兵物語』(六三年、勝新太郎)『六人の女を殺した男』(六五年、フランキー堺)『ハーベージの無責任清水港』(六六年、植木

→佐渡金山を舞台に権謀術数を描いた群像時代劇『無宿人別帳』(+)と、戦国時代の下層民の個性が爆発する快作『雑兵物語』(下)



等)『小さな迷路』(六六年、稻垣千春)。当口一般十四回。上巻(スケジュールなし)詳細は同館(西区元町一-一〇一-四)地下鉄九条駅⑥出口歩三分、六月廿一日一四一六)。

●ガツトネロ 市岡在住の社会派シャンソン歌手・松浦田義子さん主導の音楽祭。毎日様々な企画でなるべくたってシャンソン=「ガツトネロ」(黄門漫遊記)(五六年、勝新太郎)『はつたり』(挺拳銃)(六十一年、伴淳三郎)『しひ逢い』(六一年、佐田啓一)『無面人別帳』(六三年、佐田啓一)『雑兵物語』(六三年、勝新太郎)『六人の女を殺した男』(六五年、フランキー堺)『ハーベージの無責任清水港』(六六年、植木時から兵庫県立美術文化センター神戸女学校未

→「うた☆カフ」主演のHANAMORI - MIKO(下)が、ガントネロを主導する松浦由美子さん(上)と、
 田(近江十日)▽「ベニーナハイア・ソルジア」=みじか・の・みじかのつた&ソーヴルヒル城浩
 ルー・田(近江)▽エマモリ=和歌トホールトバス(中川公志さん・小原有
 貴さん)が日本の懐かしの歌を歌ひ、〇一四年
 のトーマサの「わ・わ・せ・し・を・歌・ひ」。六月、十六
 日(木)十五時(祝祭)、一・十七日(金)十五時(祝)
 十九時(祝)、二・廿一日十五時(祝)の全五回
 (毎週六々)。△アーティストは、(六月)十六、
 一・十七日)と樺本由美子さん(七月十八日)。
 田(近江)▽「飲物は・要予約」▽「カフ・カフ
 ハ・ハ・ハ」=「裏を透かした御茶会」をトーマ
 サー開催。△「裏を透かした御茶会」のアーティ
 ストは、七月三十日(木)から「風魔道御用四
 一二・一〇(繁栄商店街)、八月九・一〇・一・
 二・十時~十八時(鶴見町)。△
 ●映画『つまむる』 監修:田中要次 田中要次の不仲や
 虐待の経験から親しくない夫婦の夫婦。出
 産予定日は「我が子を失った夫婦。子どもを望ん
 だものの授からない人生を受け入れた夫婦。完
 沢しなじ愛情を持つ夫婦を描いた夫婦」。△
 田(近江十日)▽「ベニーナハイア・ソルジア」=
 みじか・の・みじかのつた&ソーヴルヒル城浩
 ルー・田(近江)▽エマモリ=和歌トホールト
 バス(中川公志さん・小原有
 貴さん)が日本の懐かしの歌を歌ひ、〇一四年
 のトーマサの「わ・わ・せ・し・を・歌・ひ」。六月、十六
 日(木)十五時(祝祭)、一・十七日(金)十五時(祝)
 十九時(祝)、二・廿一日十五時(祝)の全五回
 (毎週六々)。△アーティストは、(六月)十六、
 一・十七日)と樺本由美子さん(七月十八日)。
 田(近江)▽「飲物は・要予約」▽「カフ・カフ
 ハ・ハ・ハ」=「裏を透かした御茶会」をトーマ
 サー開催。△「裏を透かした御茶会」のアーティ
 ストは、七月三十日(木)から「風魔道御用四
 一二・一〇(繁栄商店街)、八月九・一〇・一・
 二・十時~十八時(鶴見町)。△
 ●映画『つまむる』 監修:田中要次 田中要次の不仲や
 虐待の経験から親しくない夫婦の夫婦。出
 産予定日は「我が子を失った夫婦。子どもを望ん
 だものの授からない人生を受け入れた夫婦。完
 沢しなじ愛情を持つ夫婦を描いた夫婦」。△

→「うた☆カフ」主演のHANAMORI - MIKO(下)が、ガントネロを主導する松浦由美子さん(上)と、
 田(近江十日)▽「ベニーナハイア・ソルジア」=みじか・の・みじかのつた&ソーヴルヒル城浩
 ルー・田(近江)▽エマモリ=和歌トホールト
 バス(中川公志さん・小原有
 貴さん)が日本の懐かしの歌を歌ひ、〇一四年
 のトーマサの「わ・わ・せ・し・を・歌・ひ」。六月、十六
 日(木)十五時(祝祭)、一・十七日(金)十五時(祝)
 十九時(祝)、二・廿一日十五時(祝)の全五回
 (毎週六々)。△アーティストは、(六月)十六、
 一・十七日)と樺本由美子さん(七月十八日)。
 田(近江)▽「飲物は・要予約」▽「カフ・カフ
 ハ・ハ・ハ」=「裏を透かした御茶会」をトーマ
 サー開催。△「裏を透かした御茶会」のアーティ
 ストは、七月三十日(木)から「風魔道御用四
 一二・一〇(繁栄商店街)、八月九・一〇・一・
 二・十時~十八時(鶴見町)。△
 ●映画『つまむる』 監修:田中要次 田中要次の不仲や
 虐待の経験から親しくない夫婦の夫婦。出
 産予定日は「我が子を失った夫婦。子どもを望ん
 だものの授からない人生を受け入れた夫婦。完
 沢しなじ愛情を持つ夫婦を描いた夫婦」。△



→「うた☆カフ」主演のHANAMORI - MIKO(下)が、ガントネロを主導する松浦由美子さん(上)と、
 田(近江十日)▽「ベニーナハイア・ソルジア」=みじか・の・みじかのつた&ソーヴルヒル城浩
 ルー・田(近江)▽エマモリ=和歌トホールト
 バス(中川公志さん・小原有
 貴さん)が日本の懐かしの歌を歌ひ、〇一四年
 のトーマサの「わ・わ・せ・し・を・歌・ひ」。六月、十六
 日(木)十五時(祝祭)、一・十七日(金)十五時(祝)
 十九時(祝)、二・廿一日十五時(祝)の全五回
 (毎週六々)。△アーティストは、(六月)十六、
 一・十七日)と樺本由美子さん(七月十八日)。
 田(近江)▽「飲物は・要予約」▽「カフ・カフ
 ハ・ハ・ハ」=「裏を透かした御茶会」をトーマ
 サー開催。△「裏を透かした御茶会」のアーティ
 ストは、七月三十日(木)から「風魔道御用四
 一二・一〇(繁栄商店街)、八月九・一〇・一・
 二・十時~十八時(鶴見町)。△
 ●映画『つまむる』 監修:田中要次 田中要次の不仲や
 虐待の経験から親しくない夫婦の夫婦。出
 産予定日は「我が子を失った夫婦。子どもを望ん
 だものの授からない人生を受け入れた夫婦。完
 沢しなじ愛情を持つ夫婦を描いた夫婦」。△

→「うた☆カフ」主演のHANAMORI - MIKO(下)が、ガントネロを主導する松浦由美子さん(上)と、
 田(近江十日)▽「ベニーナハイア・ソルジア」=みじか・の・みじかのつた&ソーヴルヒル城浩
 ルー・田(近江)▽エマモリ=和歌トホールト
 バス(中川公志さん・小原有
 貴さん)が日本の懐かしの歌を歌ひ、〇一四年
 のトーマサの「わ・わ・せ・し・を・歌・ひ」。六月、十六
 日(木)十五時(祝祭)、一・十七日(金)十五時(祝)
 十九時(祝)、二・廿一日十五時(祝)の全五回
 (毎週六々)。△アーティストは、(六月)十六、
 一・十七日)と樺本由美子さん(七月十八日)。
 田(近江)▽「飲物は・要予約」▽「カフ・カフ
 ハ・ハ・ハ」=「裏を透かした御茶会」をトーマ
 サー開催。△「裏を透かした御茶会」のアーティ
 ストは、七月三十日(木)から「風魔道御用四
 一二・一〇(繁栄商店街)、八月九・一〇・一・
 二・十時~十八時(鶴見町)。△
 ●映画『つまむる』 監修:田中要次 田中要次の不仲や
 虐待の経験から親しくない夫婦の夫婦。出
 産予定日は「我が子を失った夫婦。子どもを望ん
 だものの授からない人生を受け入れた夫婦。完
 沢しなじ愛情を持つ夫婦を描いた夫婦」。△

